

コムハウスのロータリーの桜がきれいに開花している中、コムハウス・ねくすとの 2021 年度がスタートしました。今年度は新しい職員が 2 人加わり、コムハウス なかま 31 名、職員 25 名、ねくすと なかま 18 名、職員 10 名、コロナに負けず元気に過ごしてまいります。

今年度は共幸講座や福祉の文化祭で、地域のみなさんと交流できることを願っています。

~~~~施設長あいさつ~~~~



4 月より、「ねくすと」の施設長を務めております、片桐政勝と申します。出身は、南信の宮田村で現在の住まいは、安曇野市です。宮田村にいる親の介護や田畑の作業を週末しながら、中間点の松本で障がいのある人の地域生活支援に関わらせていただいております。

「ねくすと」は、薪づくり・麦ストローづくり・リサイクル回収・箱折作業（外注）を主な仕事としており、現在は 18 名の障がいのあるなかまが仕事に励んでいます。中には、アート活動をライフワークとして作品展で入選するなかまもあり、それぞれの個性が輝いています。

コロナ渦で活動や製品販売も苦戦していますが、こんな時こそ笑顔で過ごしたいと思います。いつも応援ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。



2020 年 8 月よりコムハウス施設長をしております、百瀬薫と申します。（歴代施設長の中において、かなりひよっこです…（´；ω；）

私は、もともと看護師として病院勤めをしていました。やや気まぐれな感じで、まったく何の知識もないまま障害福祉に足を踏み入れ、重度の障がいのある方たちの支援のためにコムハウスにきました。コムハウスで障がいのある方たちと触れ合ううちに、「こんな純粋な人たちがいるんだ！」それまで経験したことのない思いがあらわれてきて、毎日が楽しい気持ちでいっぱいでした。それから早 20 年あまり。情勢の変化もあり、働き方改革というものもあり、何となく昔とは違う中、変わらないなかまたちの姿に日々癒されています。

コムハウスでは、クッキー作り、麦ストロー、リサイクル作業などの他、ヒンメリやアクリルたわし等の工芸品や、重度の障がいのある方たちの紙すき作業でできる紙を使った製品（はがき、メモ帳、カードなど）を作っています。またワクワクできる楽しい活動もしています。コロナが落ち着いたら、いつでも遊びに来てください！